



自民党 責任政党!!

令和4年(2022)3月27日発行

京都市会議員団ニュース

No.75

■発行人／橋村芳和 ■編集委員／森田守 平山たかお 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091 <http://jimin-kyoto.jp/>



『最後の手段』として採られる

「運賃改定」は、あらゆる経営改善努力を講じた上で、

新型コロナウイルス感染症によるお客様数減等の影響を受け、市バス・地下鉄の経営危機が叫ばれています。特に、令和2年度の決算において、地下鉄は『経営健全化団体*』に陥り、早期の経営健全化が求められています。

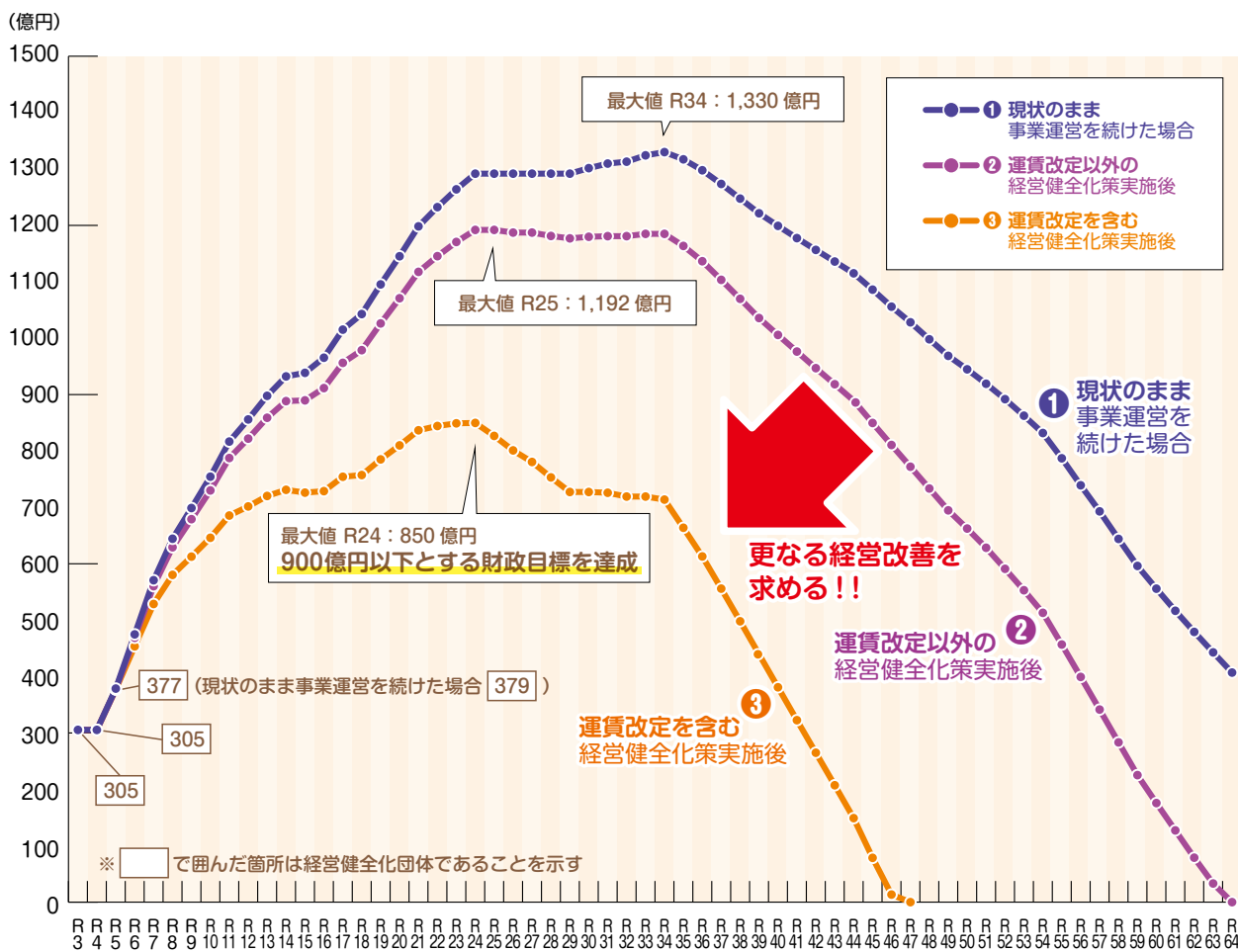
そのような状況の下、交通局は市バス・地下鉄事業における新たな経営ビジョンを策定し、①現行計画のまま推移した場合、②一層の経営努力をした場合、③運賃改定をした場合の、収支予測を公表しました。この③の情報が一人歩きし、運賃改定がなされると市民の皆様にご心配をおかけすることになったと認識しています。

厳しい経営の市バス・地下鉄事業 あらゆる経営改善努力を!!

新型コロナウイルス感染症によるお客様数減等の影響を受け、市バス・地下鉄の経営危機が叫ばれています。特に、令和2年度の決算において、地下鉄は『経営健全化団体*』に陥り、早期の経営健全化が求められています。

そのような状況の下、交通局は市バス・地下鉄事業における新たな経営ビジョンを策定し、①現行計画のまま推移した場合、②一層の経営努力をした場合、③運賃改定をした場合の、収支予測を公表しました。この③の情報が一人歩きし、運賃改定がなされると市民の皆様にご心配をおかけすることになったと認識しています。

累積資金不足の推移(長期的な借入である特別減収対策企業債残高を除く)



自民党市会議員団は更なる経営改善を求め、矢印で示されている②の数字が③に近づくように尽力し、責任政党として運賃改定をしない未来を描けないのか、あらゆる手法を講じるよう提案してまいります。

経営努力を講じているのかといった観点から、様々な議論を行なっています。これからは自民党議員団は、将来も見据えた総合的な観点に立ち、市民の皆様にとっての福祉の向上につながる公共交通の在り方を求めています。自民党議員団は、安易に「値上げ反対」と騒ぎ立てるのではなく、交通局が果たすべき力を発揮すべきであり、「運賃改定」ありきではありません。自民党議員団は、安易に「値上げ反対」と騒ぎ立てるのではなく、交通局が果たすべき力を発揮すべきであり、「運賃改定」ありきではありません。

施設使用料・手数料改定

持続可能な制度とするための見直し
利用者への説明と支援も

「ひと・まち交流館」などの公共施設は、市民の皆様の自発的な活動を支えるために、できる限り使用料を抑えながら運営を続けています。一方で、近隣の類似施設の料金や他都市の状況を考慮し、また施設を利用する方・しない方の負担の公平性を損なわないようにすることも大切です。自民党京都市会議員団は、2月市会において、各施設で利用者1人当たりの経費がいくら掛かっているのか、また利用者と公費の負担割合がどのようにになっているのかを、市民の皆様にとりかかりと情

報公開し、ご理解いただくことが重要であると指摘しました。令和4年度に使用料が40円から100円に改定される「ひと・まち交流館」では、入館者1人当たり3,350円※の運営経費が掛かっており、使用料改定後も経費の97%を公費で負担することとしています。

自民党京都市会議員団は、これまでから、市バスの営業成績を示す営業係数の公開や、家庭ごみ有料指定袋への処理経費の記載など、コストの見える化を進めてまいりましたが、今後も市民の皆様には、京都市の様々な事業や施策のコストについて関心を持っていただき、これらの制度が将来にわたって持続可能なものとなるようご理解をお願いいたします。

施設名	入館者1人に係る運営経費	負担の内訳()は支出に対する割合		
		区分	入館者の負担	税金での負担
ひと・まち交流館京都	3,350円	改定前	40円(1%)	3,310円(99%)
		改定後	100円(3%)	3,250円(97%)

基金枯渇の危機回避に向けて

令和七年度残高一千億円超必達 コロナ禍苦しい市民・企業 守りぬく

●伏見区

繁隆夫議員

■繁隆夫議員（質疑） 行財政改革は単なる収支の帳尻合せであってはなりません。かつて市長は、就任直後にリーマンショックの影響を受ける極めて厳しい財政状況の下で財政健全化に取り組みましたが、今回どのような思いで令和4年度予算を編成されたのか伺います。また、行財政改革計画では令和7年度の公債償還基金残高1,000億円以上の確保を必達目標としていますが、計画策定後最初の

予算編成段階での今後の見通しを伺います。

■門川大作市長（答弁） コロナ禍で厳しい状況にある市民、地域企業等の皆様を守り抜くとともに、京都のあらゆる強みを生かした成長戦略を推進することに加え、財政危機を乗り越えて持続可能な行財政の確立に向けた展望を開く覚悟で予算編成に臨みました。公債償還基金については、令和3年度、4年度の収支改善及び今後の行財政改革計画の着実な実行により基金残高を令和7年度末で1,330億円以上確保し、基金枯渇の危機を確実に回避してまいります。

南部創造エリアの産業振興に向けた産業用地の創出

■繁隆夫議員（質疑） 1ha規模の産業用地である元創業支援工場及び元資器材・防災センター西側用地のプロポーザル方式の公募に当たつての考え方を伺います。伏見区横大路では多くの土地所有者の協力による産業用地の創出に

よって企業の関心が高まっており、早期の土地利用に向けた取組が重要です。また、市街化調整区域での建築を可能とする制度の運用等を実施している向島国道1号周辺エリアでの取組や今後の企業誘致プロジェクトの進め方を併せて伺います。

備を優先し、最も早い街区で令和5年度当初から土地利用を可能とするほか、向島国道1号周辺エリアについては開発に伴う道路整備への支援制度を来年度予算で提案しており、引き続き周辺農地の営農環境保全を前提に産業用地創出に取り組みます。これらに加えて、京都のビジネス環境の魅力発信事業の創設や企業立地促進制度補助金の再構築など、全庁横断的な組織をつくり、企業立地を推進してまいります。



産業用地創出が期待される
向島国道1号エリア

コストの見える化を推進

改革には市民理解が不可欠 市民福祉の向上・危機管理・安全を

●上京区

寺田一博議員

■寺田一博議員（質疑） 市民生活に影響のある入場料や使用料、手数料の見直しなど多くの提案がなされています。議会の承認を得るためにも、市民の皆さまへ分かりやすいコスト表示を求めます。行財政改革を進める上で最も重要なのは、市民福祉の向上と危

機管理や市民の安全を守ることを優先させることです。また、何より市民の皆さまのご理解が不可欠です。そのためにも分かりやすい指針を示す必要があります。財政健全化等に関する条例については、計画策定を明確に位置付ける条例を制定する必要があるのではないのでしょうか。

■門川大作市長（答弁） 行財政改革の推進には市民の皆さま

コロナウイルス感染症について、現在はワクチンの3回目接種が急がれます。年度末までのワクチン必要数は確保されていると伺っています。が、今後の見通しについてお答えください。また、小さな子どもへのワクチン接種やマスク着用には慎重な意見が少なくありません。強制ではなく、多くの皆さんご理解の下、感染症対策が行われるようお願いいたします。

●寺田一博議員の代表質疑●

- 1 これからの京都市財政について
- 2 新型コロナウイルス感染症対策と地域コミュニティ・健康長寿への支援策について
- 3 エネルギー政策と森林政策について
- 4 西陣活性化への取組と京都子ども文化会館跡地活用について

ください。

■門川大作市長（答弁） 会館の良さは継承しつつ、文化スポーツ・健康づくり、地域コミュニティ、西陣活性化の観点から周辺地域の回遊性を高めるための提案を公募型プロポーザルにより幅広く募ります。

京都子ども文化会館跡地活用に工夫を

■寺田一博議員（質疑） 西陣エリアに位置する京都子ども文化会館の跡地については、地元からも大きな期待が寄せられています。子ども文化会館の良さを継承しつつ、文化・芸術に触れる場、市民の皆さんがスポーツに親しめる場としての機能を併せ持つ形で進めるよう求めてきましたが、活用方針の方向性をお答え



京都子ども文化会館
パンフレットより

【代表質疑】2月市会（2月28日）

安易な値上にならぬよう

あらゆる経営努力を尽くし

市バス・地下鉄の経営健全化

●右京区

森田守議員

■森田守議員（質疑） 今市会において、経営ビジョン改訂版が示され、市バスで8％程度、地下鉄で7％程度の運賃改定が提案されていますが、安易な運賃値上げは本末転倒であり、それまでの間、あらゆる経営努力を尽くす必要があります。今後、公共の福祉である市バス・地下鉄の経営を維持するために、事業の舵取りを担う市長の決意をお聞きます。

■門川大作市長（答弁） 交通局では、これまでの度重なる健全化の取組により、既に入件費や経費を大幅に削減してきているところです。今一歩踏み込んだ経営健全化策を断行しますが、安定経営実現の道筋を立てるためには、運賃改定を見込まざるを得ません。経営状況を市民の皆さまにお伝えし、ご理解を頂きながら共にこの危機を乗り越えていく決意です。

3歳児「屈折検査」導入で早期支援を

■森田守議員（質疑） 乳幼児健診の一番の目的は、診察等を通じて乳幼児の発育や発達を確認し、疾病や障害等の疑いを早期に発見し、早期の支援につなげていくことにあり、そのため

検査や様々な工夫が必要です。個々の家庭の状況やニーズに気づき、様々な支援策につなぐための乳幼児健診について、今後どのように進めていくのか伺います。

■吉田良比呂副市長（答弁） 森田議員から9月市会で御指摘いただき、京都府医師会等からも御要望のあった3歳児健診における屈折検査の導入について、令和4年度予算案として計上したところです。今後とも、子どもの成長段階に応じて刻々と変わりゆく子育て家庭の不安や悩みに「気づき」、必要な支援に「つながる」ためのツールとなるよう取り組んでまいります。

●森田守議員の質疑項目●

- 1 市バス・地下鉄の経営健全化について
- 2 上下水道事業の経営について
- 3 乳幼児健康診査について
- 4 学校施設の維持管理について
- 5 消防指令センターの共同運用について
- 6 太秦小学校東側の歩道整備について（要望）

太秦小学校周辺歩道延長で安全に

■森田守議員（要望） 太秦小学校の東側の太秦上桂線では、太秦小学校の体育館新

築工事に合わせて、平成30年度に歩道が整備されましたが、北端部分は、約30mの区間において歩道が途切れています。様々な方策を検討し、歩道の延長整備が実現すれば、より

安心・安全に通行していただけると思います。様々な課題を解消していく必要がありますが、将来的な歩道の延長整備の実現に向けての検討を要望します。

農産物の販路拡大に向けて

8割農家が苦しい経済状況

地産地消・観光連携・高付加価値化を支援

●右京区

井上よしひろ議員

■井上よしひろ議員（質疑） 京都市の統計によると、市内の農家戸数や商品生産を主たる目的とする販売農家は、ともに減少傾向です。また、販売農家の約8割は

厳しい経営状況です。多くの販売農家の方々は独自で販路を切り拓き、何とか農業を続けている状況であると同って

備を積極的に進められてきました。とりわけ1歳児加配については、我が会派が充実を求めてきましたが、今回の予算でどのように反映されているか伺います。

農業の果たす役割の重要性が今後も高まる中、とりわけ農産物の販路拡大に向けてどのような取組を進めていかれますか。

■岡田憲和副市長（答弁） 今後とも、農家や関係団体、民間事業者等と、より一層連携を深め、地産地消の取組をはじめ、農業関連ビジネスの創出や観光との連携、農産物の高付加価値化等により、農産物の更なる販路拡大を支援し、農業の振興に努めていきます。

保育園の定員変更より柔軟なルールで

■井上よしひろ議員（質疑） 待機児童対策として保育園整

■門川大作市長（答弁） 1歳児については、本市の保育士配置基準5：1を上回り、4：1で配置できる対象児童の範囲を1歳7箇月未満から1歳8箇月未満に拡充しています。既存の定員変更ルールについて、地域の待機児童対策への影響を勘案しながら、可能な限り、実態に応じて速やかに変更できるようスピード感を持って具体的な検討を進めていきます。

京都里山SDGsラボの有効活用を

■井上よしひろ議員（質疑） 昨年、地域交流とテレワークの拠点となる京都里山SDGsラボ「こすと」を開設されたことで、関係人口の創出や移住・定住者の受入促進など、北部山間地域全体の活性化に大きな期待が寄せられます。

北部山間地域の活性化やコミュニティの活力の維持・向上に向けて今後の展望をお聞かせください。

■門川大作市長（答弁） 観光の専門人材と新たに観光枠で採用する北部山間かがやき隊員、更に地域の皆様との協働により、地域の魅力発信や観光プランの造成など、観光事業へつなげ、経済効果の波及や地域の活力向上を図ります。

●井上よしひろ議員の質疑項目●

- 1 子育て環境の充実について
- 2 児童館・学童クラブ事業の在り方について
- 3 農業振興の推進について
- 4 アフターコロナを見据えた商店街振興について
- 5 北部山間地域の持続可能なまちづくりについて



市民生活に欠かすことのできない市バス



丹精込めて育てられた京野菜

西京区 田中 明秀

コロナ禍の影響が当初見込みより小幅でなんとか踏みとどまった。しかし基金の取崩しが56億円ある。社会福祉関連経費が増え続けるなか更なる歳出削減と税収増に向けて知恵を絞っていく。

伏見区 繁 隆夫

行財政改革計画に基づき、敬老乗車証制度や、いわゆるプール制をはじめとする補助金やイベント、使用料・手数料など多岐にわたる事業が見直されており、市民の皆様への丁寧な説明が必要。

伏見区 みちはた弘之

大変厳しい財政状況の中、市民生活の安心安全を最優先で、財政構造改革を着実に進め、成長戦略の取組を押し進め、将来の子どもたちのために、真摯に取り組んでまいります。

上京区 中村三之助

行財政改革計画の着実な達成に全力を挙げ、令和5年度までの集中改革期間終了後に、コロナ禍の収束状況と本計画の達成状況を踏まえ、中期収支試算の再算定を行い財政運営目標の設定を。

中京区 津田 大三

行財政改革発表後初の予算。人口減少や超少子化の中、今後どの都市でも起こり得る課題。改革の意義や正確な情報発信無くして、市民理解は得られない。成長戦略とともに京都の未来を見据えていく。

山科区 富 きくお

財政難により市民に痛みを伴う行財政改革が進む中、市民生活への影響を最小化するため行政内部の改革を徹底して行つた上で、議会の責任も自覚し市民の生命と暮らしを守り抜く予算。

下京区 やまざまい子

本市の厳しい財政を打破するには京都経済の活性化、好循環が不可欠です。地域企業の安定経営や発展の更なる支援、DX化、スタートアップや企業誘致など様々な方策を図ってまいります。

右京区 田中たかのり

昨年に策定された行財政改革計画に基づいての見直しが進められた。ただ、見直しによる縮小ばかりに注目されるが、京都市が、何を取り組むのが重要であり、市民と共有してまいります。

令和4年度

京都市予算について



またきち
(京都市会マスコットキャラクター)

自由民主党市議会議員団に聞きました

皆さんの
ご意見・ご要望を
お寄せ下さい

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市議会議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

西京区 西村 義直

146万市民の生活に寄り添った予算を目指して審議しなければなりません。安心安全を最優先に多くの事業を踏まえ、地域活性化に繋がる政策を積み上げ、更なる福祉の向上に向けて取り組みます。

伏見区 橋村 芳和

お預かりした大切な税金を一円も無駄にすることなく活かして執行するため、予算市会において厳しく審議しました。ふるさと納税の更なる推進や伏見区への企業誘導強化で税収アップを！

北区 山本 恵一

行財政改革計画策定後、初の予算編成。厳しい財政状況であるが、何よりも、市民生活の安心安全が第一。そして着実な成長戦略の推進。今と未来の京都市に全力で責任を果たしていきます。

左京区 さくらい泰広

市民の皆様の幸福に資することを最優先に、安定した市政運営と行財政改革の推進、この両立を図り、子育て、福祉、教育、市民の命を守るための公共事業など、着実な予算執行を求めています。

東山区 平山たかお

予算を許さないものの、持続可能な財政の確立に向けた道筋が着実に示された令和4年度予算と評価。今後は国際情勢等の下振れリスクも想定し、収支マイナスイナスからの一日も早い脱却を!!

下京区 下村あきら

令和4年度予算は、リーマンショック並みと危惧された市税収入の減少を回避できる見込みに加え、行財政改革計画の策定後、最初に編成した予算。未来の京都のため安定した財政に向け努力します。

南区 しまもと京司

令和4年度予算の審議委員長として、効率化徹底と経費節減はもとより、成長戦略としての7つのリーディングプロジェクトを強力に推進。財政破綻など絶対ない安心安全と豊かな未来へ。

右京区 井上よしひろ

「行財政改革計画」策定後、初めての予算編成であり、持続可能な行財政の確立に向け、市民の皆様のご理解ご協力のもと、歳入歳出面での改革を着実に推進していく必要があります。